



## 2022年5月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月13日

上場会社名 株式会社GameWith 上場取引所 東  
 コード番号 6552 URL <https://gamewith.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 執行役員 (氏名) 今泉 卓也  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部長 (氏名) 日吉 秀行 TEL 03-6722-6330  
 定時株主総会開催予定日 2022年8月24日 配当支払開始予定日 -  
 有価証券報告書提出予定日 2022年8月25日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年5月期の連結業績（2021年6月1日～2022年5月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年5月期	3,120	8.4	200	—	223	—	118	—
2021年5月期	2,880	△0.3	△209	—	△224	—	△217	—

(注) 包括利益 2022年5月期 123百万円 (—%) 2021年5月期 △215百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年5月期	6.57	6.53	3.7	4.6	6.4
2021年5月期	△12.07	—	△6.7	△5.2	△7.3

(参考) 持分法投資損益 2022年5月期 △0百万円 2021年5月期 -百万円

(注) 2021年5月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年5月期	4,882	3,274	67.1	181.27
2021年5月期	4,818	3,151	65.3	174.46

(参考) 自己資本 2022年5月期 3,274百万円 2021年5月期 3,148百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年5月期	675	△269	△377	3,558
2021年5月期	△392	△28	1,267	3,530

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2023年5月期の連結業績予想（2022年6月1日～2023年5月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,573	14.5	300	49.7	287	28.6	160	35.5	8.90

（注）当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）株式会社GameWith Contents Studio、除外 1社（社名）—

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：有  
④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2022年5月期	18,315,900株	2021年5月期	18,295,900株
2022年5月期	251,235株	2021年5月期	251,235株
2022年5月期	18,056,281株	2021年5月期	18,022,208株

（参考）個別業績の概要

1. 2022年5月期の個別業績（2021年6月1日～2022年5月31日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年5月期	2,736	△1.2	157	—	194	—	112	—
2021年5月期	2,770	△3.3	△256	—	△265	—	△236	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年5月期	6.22	6.18
2021年5月期	△13.11	—

（注）2021年5月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載していません。

（2）個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2022年5月期	4,704	3,256	3,256	69.2	180.28	
2021年5月期	4,794	3,139	3,139	65.4	173.82	

（参考）自己資本 2022年5月期 3,256百万円 2021年5月期 3,136百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は2022年7月13日（水）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中で、個人消費や企業の生産活動は持ち直しの動きがみられたものの、引き続き感染症による影響を注視する必要がある状況が続いております。さらに、中国における感染再拡大の影響やウクライナ情勢の長期化などが懸念される中で、供給面での制約や原材料価格の上昇、金融資本市場の変動等による下振れリスク影響についても顕在化してきており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、ゲーム情報メディア「GameWith」等にて、①ゲームを有利に進めるための情報を提供する「ゲーム攻略」、②ゲームを見つけるための情報を提供する「ゲーム紹介」、③専属のゲームタレント及びeスポーツ選手が動画プラットフォーム上で行う「動画配信」という主な3つのコンテンツの提供と充実を図ることに経営資源を投下することで、「GameWith」等のメディアの価値を高めてまいりました。

当社グループの事業は、上記コンテンツを主にWebサイトの利用者に提供し、そこに表示される広告枠を販売すること等により収益を得ております。当連結会計年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により広告出稿を控えていた企業も徐々に出稿を増やし、「GameWith」等のページビュー当たりの広告単価は改善傾向にありました。

このような環境下において、当社グループはゲーム攻略やゲーム紹介といった既存事業の拡大に取り組むだけでなく、直近では、新規領域としてeスポーツおよびNFTゲームにも注力しており、メディア領域に次ぐ収益の柱の創造に向けて積極的に投資を行っております。eスポーツ領域については、日本におけるプロeスポーツチームのパイオニアであり、世界で最もプレイヤー数の多いPCゲームとされている「League of Legends」部門の日本チャンピオンチームの運営をし、世界的な大会においても実績を残している株式会社DetonatioNの株式を2021年10月に取得し、相乗効果が見込める事業展開を計画するなど、更なる事業を展開するための施策に、積極的に取り組みました。NFTゲーム領域においては、投資先の株式会社Kyuzanと共同開発を行っているNFTゲームが大きく成長しており、今後拡大が予想されるNFTゲーム市場におけるさらなる拡大のための基盤構築を行ってまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は3,120百万円（前期比8.4%増）、営業利益は200百万円（前期は営業損失209百万円）、経常利益は223百万円（前期は経常損失△224百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は118百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失△217百万円）となりました。

なお、当社グループは「メディア事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における総資産は4,882百万円となり、前連結会計年度末に比べ64百万円増加しました。これは主に、未収還付法人税等161百万円、未収消費税等78百万円、敷金43百万円などが減少したものの、のれん210百万円、売掛金及び契約資産62百万円、投資有価証券44百万円、現金及び預金28百万円などが増加したことによるものであります。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は1,608百万円となり、前連結会計年度末に比べ59百万円減少しました。これは主に、未払法人税等91百万円、契約負債75百万円、買掛金48百万円、未払金36百万円などが増加したものの、長期借入金が328百万円減少したことなどによるものであります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産は3,274百万円となり、前連結会計年度末に比べ123百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が118百万円増加したことによるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ28百万円増加し、3,558百万円となりました。

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は675百万円（前連結会計年度は392百万円の支出）となりました。これは主に、増

加要因として税金等調整前当期純利益221百万円、法人税等の還付額162百万円、未収消費税等の減少78百万円、のれん償却額57百万円、減価償却費43百万円、契約負債の増加34百万円、未払金の増加34百万円が発生したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は269百万円(前連結会計年度は28百万円の支出)となりました。これは主に、増加要因として敷金の回収による収入46百万円、減少要因として連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出235百万円、投資有価証券の取得による支出53百万円、関係会社株式の取得による支出39百万円が発生したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は377百万円(前連結会計年度は1,267百万円の収入)となりました。これは、増加要因として新株予約権の行使による株式の発行による収入3百万円、減少要因として長期借入金の返済による支出380百万円が発生したことによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、今後もゲーム情報メディア「GameWith」等に継続的に経営資源を投下し、ユーザーに向けた有益なコンテンツの提供を行うことで「GameWith」等のメディアの価値を高め、引き続き事業拡大を図ってまいります。また、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢等による市況への影響については引き続き考慮しつつ、2023年5月期はこれまで当社グループが築いた強みをより強化することに注力してまいります。

ゲーム攻略、ゲーム紹介、動画配信といった既存のメディア領域については、引き続き日本最大級のゲームメディア「GameWith」等を中心に、アプリゲームだけでなく、家庭用ゲームやPCゲームなどのコンシューマーゲームのコンテンツを引き続き拡充することで収益の拡大に努めます。今後はこれらのサイトの膨大なトラフィックを活用したサービスを展開することで、マネタイズの多角化にも注力してまいります。また、先日発表させていただいた株式会社デジタルハーツホールディングスとの資本業務提携に伴い、両社のサービスのクロスセルを積極化することで、開発支援からターゲットを絞った効果的なマーケティング支援、運営支援までワンストップで提供できる体制を強化するとともに、それぞれの強みを活かした新たなサービスメニューの開発を推進することで、サービスの付加価値向上を目指してまいります。さらに、事業効率の改善とコスト削減にも注力し、利益率改善に努めてまいります。

新規事業領域については、引き続きeスポーツとNFTゲームに積極的に投資をしてまいります。eスポーツ領域については、株式会社Detonationとの連携をさらに強化し、重複する業務の見直しによる効率化や相互の強みを活かしたシナジーを発揮してまいります。従来収益の中心であった動画配信だけでなく、スポンサー収入、タイアップ、ファンビジネス、大会賞金等、収益の多様化と成長を実現し、マネタイズが難しいと言われるeスポーツ領域の中で、しっかりと利益が出せる体制を構築できるよう取り組んでまいります。さらに、今後は回線事業等のeスポーツインフラ領域にも注力してまいります。先日当社との資本業務提携を発表させていただいたアルテリア・ネットワークス株式会社は、自社光ファイバー網を活用することで、高品位な通信サービスの提供を展開しております。今後、eスポーツインフラ領域における重要なパートナーとして、資本業務提携によりさらなる業務連携の強化を行うことで、両社の強みを活かしてeスポーツインフラ領域における事業拡大を進めてまいります。

NFTゲーム領域については、引き続き株式会社Kyuzanと共同開発をしているNFTゲームに注力しつつ、新たに本格的なPlay to Earnゲームの開発も予定しております。また、NFTゲームは初心者にとって始めるハードルが高いという課題がございます。当社としては、できるだけカジュアルなゲームの開発に努めており、今後はゲーム情報メディア「GameWith」等で培ったノウハウやブランドを活かして、NFTゲーム自体の発展や普及にも貢献していきたいと考えております。

以上に基づき、2023年5月期の業績予想につきましては、売上高3,573百万円(前期比14.5%増)、営業利益300百万円(前期比49.7%増)、経常利益287百万円(前期比28.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益160百万円(前期比35.5%増)を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当連結会計年度 (2022年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,530,036	3,558,465
売掛金	384,067	—
売掛金及び契約資産	—	446,584
前払費用	49,353	50,931
未収消費税等	81,872	3,332
未収還付法人税等	161,850	—
その他	5,313	15,800
流動資産合計	4,212,495	4,075,114
固定資産		
有形固定資産		
建物	112,629	80,795
減価償却累計額	△20,208	△16,866
建物(純額)	92,421	63,929
工具、器具及び備品	87,373	90,035
減価償却累計額	△56,873	△61,675
工具、器具及び備品(純額)	30,500	28,360
有形固定資産合計	122,921	92,289
無形固定資産		
のれん	94,231	305,082
無形固定資産合計	94,231	305,082
投資その他の資産		
関係会社株式	—	39,185
投資有価証券	145,296	190,008
敷金	125,755	81,987
繰延税金資産	117,712	98,561
その他	56	404
投資その他の資産合計	388,819	410,146
固定資産合計	605,973	807,518
資産合計	4,818,468	4,882,633

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当連結会計年度 (2022年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	67,427	116,292
1年内返済予定の長期借入金	328,404	328,404
未払金	62,372	98,674
未払費用	106,811	120,203
未払法人税等	4,777	95,812
契約負債	—	75,436
賞与引当金	109,408	79,224
資産除去債務	11,810	—
その他	22,273	68,361
流動負債合計	713,284	982,410
固定負債		
長期借入金	926,426	598,022
資産除去債務	27,685	27,681
固定負債合計	954,111	625,703
負債合計	1,667,396	1,608,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	549,625	551,225
資本剰余金	548,624	550,224
利益剰余金	2,249,481	2,368,059
自己株式	△200,107	△200,107
株主資本合計	3,147,623	3,269,401
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	445	5,118
その他の包括利益累計額合計	445	5,118
新株予約権	3,004	—
純資産合計	3,151,072	3,274,520
負債純資産合計	4,818,468	4,882,633

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)	当連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)
売上高	2,880,080	3,120,745
売上原価	1,435,268	1,671,783
売上総利益	1,444,812	1,448,961
販売費及び一般管理費	1,654,611	1,248,575
営業利益又は営業損失(△)	△209,799	200,386
営業外収益		
受取利息	33	34
助成金収入	3,986	570
投資事業組合運用益	—	23,830
為替差益	—	2,107
その他	799	2,097
営業外収益合計	4,818	28,640
営業外費用		
支払利息	4,054	4,256
投資事業組合運用損	12,710	—
賃貸借契約解約損	—	1,015
為替差損	1,642	—
持分法による投資損失	—	14
その他	698	0
営業外費用合計	19,105	5,286
経常利益又は経常損失(△)	△224,086	223,740
特別利益		
新株予約権戻入益	—	3,263
移転補償金	40,000	—
特別利益合計	40,000	3,263
特別損失		
投資有価証券売却損	1,899	—
投資有価証券評価損	—	5,000
事業所閉鎖損失	120,083	—
その他	—	433
特別損失合計	121,983	5,433
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△306,069	221,569
法人税、住民税及び事業税	9,364	85,904
法人税等還付税額	△102,358	—
法人税等調整額	4,493	17,087
法人税等合計	△88,500	102,991
当期純利益又は当期純損失(△)	△217,569	118,578
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△217,569	118,578

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)	当連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△217,569	118,578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,380	4,673
その他の包括利益合計	2,380	4,673
包括利益	△215,188	123,252
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△215,188	123,252
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	543,385	542,384	2,467,050	△200,073	3,352,746
新株の発行(新株予約権の行使)	6,240	6,240			12,480
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△217,569		△217,569
自己株式の取得				△34	△34
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	6,240	6,240	△217,569	△34	△205,123
当期末残高	549,625	548,624	2,249,481	△200,107	3,147,623

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△1,935	△1,935	2,788	3,353,599
新株の発行(新株予約権の行使)				12,480
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△217,569
自己株式の取得				△34
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,380	2,380	215	2,596
当期変動額合計	2,380	2,380	215	△202,526
当期末残高	445	445	3,004	3,151,072

当連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	549,625	548,624	2,249,481	△200,107	3,147,623
新株の発行 (新株予約権の行使)	1,600	1,600			3,200
親会社株主に帰属する当期純利益 (△)			118,578		118,578
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	1,600	1,600	118,578	—	121,778
当期末残高	551,225	550,224	2,368,059	△200,107	3,269,401

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	445	445	3,004	3,151,072
新株の発行 (新株予約権の行使)				3,200
親会社株主に帰属する当期純利益 (△)				118,578
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	4,673	4,673	△3,004	1,669
当期変動額合計	4,673	4,673	△3,004	123,448
当期末残高	5,118	5,118	—	3,274,520

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)	当連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△306,069	221,569
減価償却費	24,233	43,065
のれん償却額	26,526	57,720
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,809	△30,184
投資事業組合運用損益(△は益)	12,710	△23,830
受取利息	△33	△34
支払利息	4,054	4,256
助成金収入	△3,986	△570
投資有価証券売却損益(△は益)	1,899	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	5,000
移転補償金	△40,000	—
事業所閉鎖損失	120,083	—
売上債権の増減額(△は増加)	△12,436	30,807
未収消費税等の増減額(△は増加)	△57,102	78,539
仕入債務の増減額(△は減少)	18,874	12,895
未払金の増減額(△は減少)	2,509	34,027
未払費用の増減額(△は減少)	△9,231	5,889
契約負債の増減(△は減少)	—	34,411
その他	△2,116	52,405
<b>小計</b>	<b>△215,273</b>	<b>525,968</b>
利息の受取額	33	34
利息の支払額	△4,528	△4,430
助成金の受取額	3,986	570
移転補償金の受取額	40,000	—
事業所閉鎖に伴う支払額	△128,742	—
法人税等の支払額	△88,339	△9,678
法人税等の還付額	—	162,995
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△392,864</b>	<b>675,460</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△73,907	△11,853
投資有価証券の取得による支出	△42,910	△53,413
関係会社株式の取得による支出	—	△39,200
投資有価証券の売却による収入	10,056	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△235,546
敷金の差入による支出	△77,260	5
敷金の回収による収入	211,696	46,212
資産除去債務の履行による支出	△56,226	△9,800
投資事業組合からの分配による収入	—	34,269
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△28,551</b>	<b>△269,328</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,500,000	—
長期借入金の返済による支出	△245,170	△380,904
自己株式の取得による支出	△34	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	12,480	3,200
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,267,275</b>	<b>△377,704</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△680	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	845,179	28,428
現金及び現金同等物の期首残高	2,684,857	3,530,036
現金及び現金同等物の期末残高	3,530,036	3,558,465

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

また、収益認識会計基準等の適用による損益に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「売掛金」は、当連結会計年度より「売掛金及び契約資産」に、「流動負債」の「その他」に含めて表示していた「前受金」は、当連結会計年度より「契約負債」として表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、時価算定会計基準の適用による連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は、当連結会計年度において、一部事務所の退去を決定したため、退去後利用見込みのない固定資産について、耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

なお、この変更による、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益への影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

当社グループは、メディア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)	当連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)
1株当たり純資産額	174.46円	181.27円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	△12.07円	6.57円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	6.53円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当連結会計年度 (2022年5月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,151,072	3,274,520
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	3,004	－
(うち新株予約権(千円))	(3,004)	(－)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,148,068	3,274,520
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	18,044,665	18,064,665

3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)	当連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期損失(△)(千円)	△217,569	118,578
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期損失(△)(千円)	△217,569	118,578
普通株式の期中平均株式数(株)	18,022,208	18,056,281
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	－	112,678
(うち新株予約権(株))	－	(112,678)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	－

(重要な後発事象)

該当事項はありません。